

# DAIKONSHIMA WALKING MAP

## A 中海眺望巡りコース 2.7km



**1 大塚山**  
火山の噴火口跡で標高42.19mの小高い丘である。頂上には市営の牡丹展示施設「グリーンステラ」がある。この大塚山からは四方が見渡され、その眺望はすばらしく、また、桜の名所でもある。



**2 中村元記念碑**  
平成24年10月に中村元記念館の開設を記念して大塚山に建てられた。記念碑にはインド最古の仏典「スッタニパータ」の一節で、中村元博士が最も大切にしていた「慈しみ」のことが刻まれている。碑文は中村洛子夫人の筆によるものである。



**3 グリーンステラ**  
1年を通して牡丹を見ることができる。蘭やガーベラなどの花が四季折々に楽しめる「四季の部屋」や「熱帯植物の部屋」がある。



**4 焼火社**  
永正8年に勧請され、石造りの祠のみ現存する。隠岐島の焼火神社との関連があると伝えられている。



**5 中村元記念館 (松江市八東支所内)**  
松江市名誉市民の哲学者・故中村元博士(1912~1999)の業績を顕彰する記念館。平成24年10月に松江市八東支所の2階に開設した。中村博士の遺族から寄贈された蔵書や収集する図書閲覧室と、博士の著作と遺品を展示する展示室がある。休館日：月曜日 (入館料：無料)

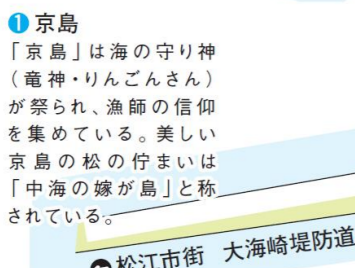


**6 八東学園の桜**  
昭和7年に現在地に八東小学校が建てられ、その記念樹として桜が植樹された。樹齢80余年となり、高さ12m幹回り4mの巨木もあり、松江近郊では見事な桜並木である。

## B 西巡りコース 5.5km



**1 京島**  
「京島」は海の守り神(竜神・りんごんさん)が祭られ、漁師の信仰を集めている。美しい京島の松の佇まいは「中海の嫁が島」と称されている。



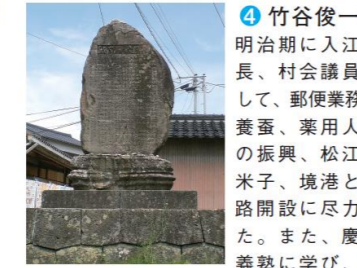
**2 入江公会堂**  
大正7年に廃校となった入江小学校の跡地で、島石でできた長い門柱は当時を偲ばせる。敷地内に竹谷俊一氏や力士四声山の石碑がある。



**3 三所神社**  
三所神社には大己貴命、事代主命、三保津姫命の三神を祭る。春日神社、若宮社、焼火社を合祀する。なお境内には、入江出身の力士で、大正年間大阪相撲で活躍した小結稲花清五郎寄進の石塔がある。



**4 地神神社**  
創建年代、由緒は不詳、祭神は天津日高彦火二邇命。境内に焼火社の小祠が祀られている。また、境内には大きな銀杏の木がある。



**4 竹谷俊一碑**  
明治期に入江戸長、村会議員として、郵便業務、養蚕、薬用人参の振興、松江、米子、境港と航路開設に尽力した。また、慶応義塾に学び、福沢諭吉翁の信賴厚い門下としての交流も知られている。入江公会堂前には、氏の功績をたたえ石碑がある。



**5 善慶寺**  
曹洞宗。境内に金毘羅社、観音堂を祀る。本尊は釈迦牟尼如来、創建年代不詳。平成16年に本堂庫裡、山門等が新築され、境内も整備された。



**6 泰養院殿**  
石見国大森代官井戸平左衛門正明は私財を投じて甘藷の栽培をすすめて百姓を飢饉から救った。水田の少ない当地の住民にとって甘藷の恵みは大きく、その遺徳を偲ぶため、八東町でも各地に石碑が建てられ、芋神様として慕い祀られた。

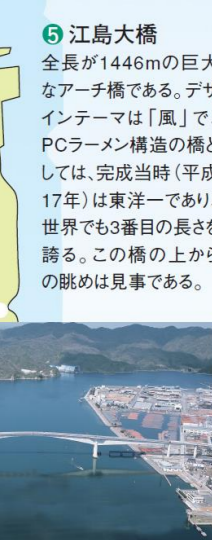
その結果生まれたのが大根島特有の肥沃な土壌「黒ぼく土」である。

# 大根島

およそ二〇万年前、江島から始まった一連の火山活動によってできた島が大根島である。その後、十二万年前、大山からの火山灰が一メートル降り積もり、さらに、八万年前、三瓶山の火山灰が一メートル降り積もった。



**5 江島大橋**  
全長が1446mの巨大なアーチ橋である。デザインテーマは「風」で、PCラーメン構造の橋としては、完成当時(平成17年)は東洋一であり、世界でも3番目の長さを誇る。この橋の上からの眺めは見事である。



## C 北巡りコース 7.1km



**1 寺津の湧水(かわ)**  
近年まで地区民の生活用水として衣類、野菜、障子等の水洗場として広く利用され、賑わいをみせていた。寺津と波入のみ現存している。



**2 波部潤次郎碑**  
明治12年に寺津で生まれ、寒天の製造に中海産のオゴ草・モクゲ草を採用し、村民にその採取を奨励し、自らも波部兄弟商會を創設して購入と採取に尽力した。



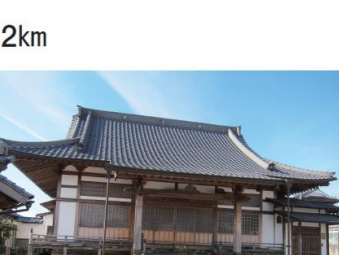
**3 松本百助碑**  
江戸時代天保元年に江島で生まれ、随分産小麦から病害に極めて強い品種を見出し、江島小麦として生産に力を注いだ。明治36年に全国的に発生した病害に唯一免れ、その名が全国に知られるようになった。その功績を讃えた記念碑である。



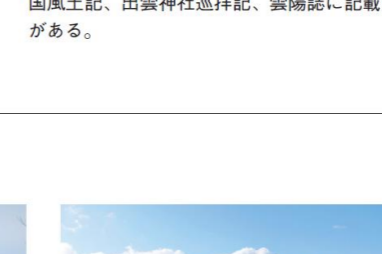
**4 蛭崎神社**  
創立年代、由緒は明らかではないが、出雲国風土記、出雲神社巡拝記、雲陽誌に記載がある。



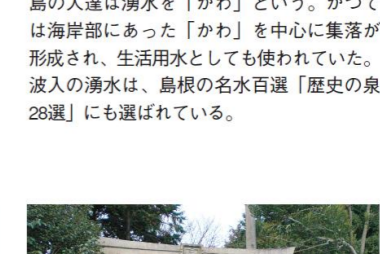
**1 波入の湧水(かわ)**  
島の人達は湧水を「かわ」という。かつては海岸部にあった「かわ」を中心に集落が形成され、生活用水としても使われていた。波入の湧水は、島根の名水百選「歴史の泉28選」にも選ばれている。



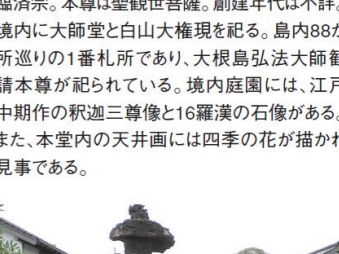
**2 観音寺**  
臨済宗。本尊は聖観世菩薩。創建年代は不詳。境内に大師堂と白山大権現がある。島内88か所巡りの1番札所であり、大根島弘法大師勧請本尊が祀られている。境内庭園には、江戸中期作の釈迦三尊像と16羅漢の石像がある。また、本堂内の天井画には四季の花が描かれ見事である。



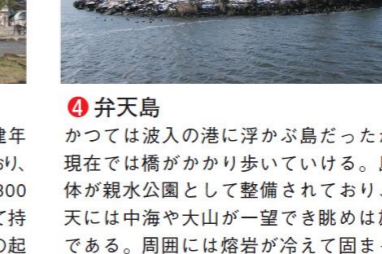
**3 全隆寺**  
曹洞宗。本尊は如意輪観世音菩薩。創建年代は永禄10年。尼子の出城の跡に建てられ、当時の石垣や堀の跡が今でも見られる。300年前、住職が静岡の可睡斎から薬用として持ち帰り、境内に植えた牡丹が大根島牡丹の起源と言われている。境内に観音堂、秋葉大権現社を祀る。全色に輝く花咲き観音像がある。



**4 弁天島**  
かつては波入の港に浮かぶ島だったが、現在では橋がかり歩いていける。島全体が親水公園として整備されており、晴天には中海や大山が一望でき眺めは雄大である。周囲には燈台が冷えて固まった跡がそのまま残っている。



**5 三社神社**  
創建年代、由緒は明らかではない。祭神は大己貴命(大国主命)、事代主命、三保津姫命である。境内には八束町一番高い島石の石灯籠がある。



**6 閻津崎神社跡**  
遅江地区の東海岸付近に位置する。祭神は瀬織津姫命、速秋姫命でいずれも海上の守神である。祭神は明治42年に三社神社に合祀され、現在では電宮社と豊受社を祀るのみであるが、明治時代末までは盛大な祭りが行われ大勢の人で賑わったという。また、遅江港からの、四季折々に変化する大山と中海の眺望はすばらしい。



- A 中海眺望コース
- B 西巡りコース
- C 北巡りコース
- D 南巡りコース
- トイレ
- 駐車場
- 大根島千本桜花海道